

宇都宮民報

発行 日本共産党
宇都宮市委員会
弥生1丁目7-11
旭コーポ1階
634-8722



「保育園落ちたの私だ!!!」 宇都宮でも他人ごとではない!

「保育園落ちた・・・」という、匿名のブログをきっかけに保育所に入れない子どもたちの父母の怒りが爆発しています。

仕事が決まったシングルマザーのTさん。貯えが底をつく前に一日も早く仕事を始めたいと2歳の娘さんの保育所入所を希望しましたが、入所できるのは年度切りかえの2カ月前。給料がもらえるまでの約3カ月間の生活費はとてまかなえないと、一時預りも探しましたが、料金が割高で断念。様々な福祉制度も該当せず、結局「生活保護」にたよるしかありませんでした。

これでは、「一億総活躍」どころではありません。

実態を反映しない
「待機児童数」

安倍政権は、2017年までに待機児童ゼロを目指すとしています。その数字が実態とかけはなれ、数字を少なく見せるカラクリがあります。

宇都宮市では、認可外保育園を利用する児童や、(他に)入園可能な施設があるのに、

認可に入れなかった児童数 (市の資料より)		
	全国	宇都宮市
国が「待機児童の定義」で除外した児童も、自治体へ通知する「少なくとも4.9万人」	人数不明 育休延長・失職・求職にハローワークを利用していない人など	不明
	3万2106人 通える施設があるのに特定の園を希望していると自治体が判断	251人
	1万7047人 自治体が補助する認可外施設を利用	不明
	2万3167人 国発表の待機児童数	136人

国が「待機児童の定義」で除外した児童も、自治体へ通知する「少なくとも4.9万人」

宇都宮市でも、新年度の保育定員増を予算化しています。2012年の4月、市は待機児童ゼロ(名目)となりましたが、左表のとおり、2015年4月には136人に、この理由について市は、

「これまでの定員の弾力的運用が制限され、恒常的定員超には、国からの給付減額などにより、年度当初の入所受け入れを控える民間施設が増えたこと」と説明。福田議員は、これまでも定員数を大きくこえて(1.5倍)入所を容認するのは保育者の質を維持できないばかりか潜在的待機児童の実態に目をそむけ、待機児童数を少なく見せかけるものと指摘してきました。

保育士が足りない
賃金166万円低い
定員増の計画をしても保育士確保がむずかしい状況です。この4月から、栃木県と宇都宮市が共同で設置する「とちぎ保育士・保育所支援センター」(保育士の人材バンク?)がスタートします。しかし、保育士確保がむずかしいのは「賃金が希望と合わない」(47.5% 13年度厚労省調査)ことです。国の決める「公定価格」を大幅

に引き上げ、処遇改善をはかるべきです。
3歳児の壁
また、市は定員増の計画のうち特に待機児童の多い3歳未満児の増員約340人分を、1/2は保育士資格がなくても保育にあたることのできる地域型保育事業の小規模保育事業で確保するとしています。保育の質はかりか3歳過ぎの預け先の心配もついてまわります。

未来を担う子どもの保育の専門性をないがしろにし、安がりで安易な保育行政で「一億総活躍」は、とんでもありません。
宇都宮市は、市の単独事業で、民間の保育士の給与と乗せ補助を行っています。しかし、月額でほかの業種と10万円以上もの差をうめるには程遠く、国が決める「公定価格」は保育士の人件費を低く抑えています。保育への公的支出を大幅に引きあげることが必要です。



戦争法廃止の政府を！ 安倍暴走政治のストップ！ 参院選勝利！

日本共産党演説会

とき 4月23日(土)午後2時開会
ところ 栃木県教育センター 大ホール

宇都宮市駒生1-1-6 電話028-621-7177



市田忠義
副委員長



おくだ智子
比例予定候補

LRト問題

共産党国会議員が取り上げた内容について知りたいというご要望にお応えします。(しんぶん赤旗日報紙から転載)

住民合意ない 導入批判

宇都宮LRト計画 塩川議員が質問



衆院予算委員会

日本共産党の塩川鉄也衆院議員は、2月25日、予算委員会分科会で、宇都宮市と栃木県芳賀町LRト(次世代型路面電車システム)導入計画について、住民合意がなく、需要予測も不十分であるなどの問題をただしました。

計画について両自治体は、国の支援が受けられる地域公共交通活性化法の認定を国土交通省に申請しています。

塩川氏は、利用客として想定される工業団地の従業員数が減っているにもかかわらず、計画案の需要予測には、そのことが反映されておらず、「計画の妥当性が問われる」と批判しました。

所要時間短縮のためとして、法令で定める路面電車の最高速度の時速40キロを超え、50キロ(高架区間の一部では70キロ)で走行するとしながら、自動車や人の進入を防ぐ安全柵や追突防止の自動列車停止装置の整備計画がない新規路線では新設が認められない踏切の設置を予定 など、安全対策上も問題点が多いと指摘し、国

一交省に現地調査を求めました。

市の多大な費用負担や住環境の悪化をもたらす計画案に多くの市民が反対しているとして、「住民合意を欠いたままのLRト導入は禍根を残す。計画は認定すべきでない」と迫りました。

同省の潮崎俊也審議官は問題点について「今後の手続きの中で確認したい」と答えました。

高市早苗総務大臣は「費用負担が大きいのので採算制をしっかり見定めることが重要だ」と述べました。



LRト導入見直しを



宇都宮で計画 本村議員が質問

衆院国土交通委員会 日本共産党の本村伸子議員は3月15日、衆院国土交通委員会で、宇都宮市が事業申請しているLRト(次世代型路面電車)の導入計画の見直しを迫りました。

同計画では、LRトの線路が地元の平石中央小学校そばの道路と平面交差し、路面電車の法定最高速度である時速40キロを超え、将来は50キロ、専用走行区間では70キロで走行させるとしています。

本村氏は、鉄道営業法に基づく「鉄道に関する技術上の基準を定める省令」が「鉄道は道路と平面交差しはならない」と規定して踏切の新設を禁止していると指摘

栃木・違法速度の路面電車



塩川氏 計画見直し迫る 衆院環境委員会

日本共産党の塩川鉄也議員は3月25日の衆院環境委員会で、宇都宮市と芳賀町のLRト(次世代型路面電車)整備計画が、将来的に法定速度の時速40キロを超える構想で国土交通省に申請されていることを批判し、白紙見直しさせるよう求めました。

計画は、工業団地を結ぶ路線の利便性向上を優先課題に、将来的にLRトの最高速度を自動車との併用区間で時速50キロ、LRト専用走行区間で同70キロとする「特認を目指す」としています。

塩川氏は県道と新設される線路との交差部分に小学校が隣接するなど、「住まい、教育、道路交通環境の悪化の懸念がある」と指摘。警察庁に対し、

小学校のすぐ近くで3分に1回通り、地元住民、保護者から危険との声が上がっており、「LRトならば平面交差でも構わない」というのはおかしい」とただしました。

さらに本村氏は、LRトの線路に沿ってフェンスがつくられると、避難所である同小学校への最短ルートが遮断されると強調。安全と避難ルートを確保するために、立体交差を望んでいる住民の声も紹介しました。

本村氏が「国が補助金を出し、出資する事業で人命が奪われることがあってはならない」と述べて慎重な対応を求めると、石井啓一国交相は「安全で適切なものとなるように必要に応じて指導する。(現地調査も)機会があれば検討したい」と答弁しました。

(昨年4月22日国土交通委員会での質問は略)

路面電車の制限速度について確認すると、掛江浩一郎審議官は「軌道法では、路面電車の制限速度は原則時速40キロと定められている」と述べました。

さらに塩川氏が、宇都宮市が広報などでLRトの時速50キロ化・一部70キロ化を住民に宣伝している件についてただと、国交省は「今回の認定は、最高速度40キロを超える運転を認定するものではない」と答弁しました。塩川氏は「道路を走るLRトが時速50キロや70キロを出すことは本来実現できないはずだ。にもかかわらず市はそれを宣伝している。50キロ70キロを目指す」と記載されている軌道運送高度化実施計画を国は認定すべきでない」と指摘しました。

塩川氏は本計画の実態が、住民合意がなく、安全政策を後退させるものであることを強調しました。丸川珠代環境相は「住民の理解を深めたい」と計画を進めることが重要と述べました。

日本共産党宇都宮市議員団

定例無料

市政・法律なんでも相談会

雇用問題・多重債務・生活保護・年金・国保・住宅道路・交通安全・その他なんでも...

日時 4月9日(土) 5月14日(土)

会場 宇都宮市コミュニティセンター

連絡先 日中 TEL632-2622(党市議員団控室) 土・日・夜間 TEL634-8722(党市委員会)

相談ご希望の方はできる限り事前にご連絡をお願いします。秘密厳守します。弁護士が協力します。

